

パンアメリカも合法的に付けられる

音量可変マフラー

Dr. Jekyll & Mr. Hyde

パンアメリカ用
スリップオン
マフラー

価格要問い合わせ

世界基準の排ガス規制であるユーロ5に合格した、音量可変式のエキゾーストシステム。国内でも排ガス試験と音量試験を行い(3月6日時点で試験中)、合格すれば、JMCA認定の車検対応マフラーとして合法的に使用することができる

音量を変えられて、車検を通すことができる合法マフラー、「ジキル&ハイド」にパンアメリカ用が登場! 見た目も音もクールな最新マフラーに迫る。

text/T.Numao 沼尾哲平
問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 <https://www.trijya.com>

迫力のサウンドと
精悍なデザインが
魅力の一本

電子制御によって、音量をコントロールできるジキル&ハイドマフラーに、パンアメリカ用が登場した。もちろん音量可変機構を搭載し、市街地では静かに、高速では迫力のサウンドへと場所や気分に合わせて音量を調整可能になっている。カスタムマフラーらしいデザイン性の高さや存在感のある太いサイレンサー部、エンドのカーボンカバーなど、見所満載。パンアメリカのスタイルにマッチしているのも注目のポイントだ。



音量調節スイッチをハンドルのスイッチボックス付近に設置すれば、手もとで簡単に音量の調整が可能だ。住宅街などではエンジン始動時は静かに、街を抜けた後に音量を上げるといった使い方も可能

ブラックアウトされたマフラーは車体とのマッチングが抜群。他にポリッシュタイプもラインアップする。ジキル&ハイドでは、マフラーの他にもパンアメリカ用のカスタムパーツを続々とリリースしていく予定だ



悩めるハーレー乗りのために
使えるパーツを開発中

ハーレー初のアドベンチャーモデル、パンアメリカ。「こんなバイクで道なき道走ってみよう」と思っている方も、実車を目の当たりにすると、大きくて、乗りこなせる自信がない、とあきらめてしまった人も多いはず。でも、乗りづらいのなら、乗りやすくしてしまおう。ということで、トライジャが今回開発したのは日本人の体形に合わせたポジションやサイズにこだわること、驚くほど乗りやすくなるパーツ群。

実際にまたがってみるとわかるのだが、「あれ？ 全然車高が高くない」となる。足がベタッとつけるのに、シートが硬くなく、長く乗っていられる。さらにポジションもよく、操作もしやすい。

トライジャのパーツは、CADや3Dプリンターなどを駆使して精密に設計したものを、専門の職人が仕上げているという方式を採用しているから、精度が高く、ポルトオンで取り付けられる。つまり、乗りづらさ問題で悩むパンアメリカ乗りや、これから手に入れた人は、これらのパーツを付ければ乗りやすい一台ができあがるというわけだ。これはパンアメリカに憧れる日本人の夢をかなえる一助になるはず。まだデビューしたばかりのモデルではあるが、これはまさにパンアメリカ革命だ！

ほんのちょっと下げただけでも効果抜群！



足を置く位置が車体の低い位置になるのでバランスを取りやすい



シートと組み合わせれば小柄な方でもグッと乗りやすくなりますよ

解決パーツ 3

ステップ
リロケーション

ノーマルのステップは位置が高いので、慣れていないと乗車時にバランスを崩しがち。しかし、ステップリロケーションを間にかませてステップ位置を下げることで、ライディングポジションがよくなり、バランスが取りやすくなる

緑のクランプがステップが付く位置。ノーマルに比べて30mmほど低く設置できる

ステップ位置を低くしすぎるとバンクしたときに擦ってしまう。そのため擦れにくいギリギリの位置にステップがくるように設計されている

解決パーツ 2

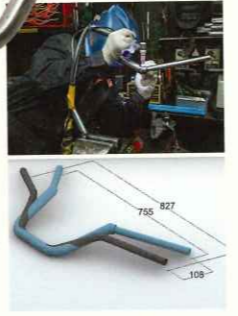
プルバックハンドル

平均的な日本人の体形で操作しやすいようにハンドル幅をノーマルよりも狭くして、さらにグリップが手前にくるようにプルバックさせた。小柄な人でも上体が起きて、ラクな走行姿勢を取ることができる



楽な姿勢で走れるようになりますよ！

握る位置がかなり手前で操作が楽になるんですよ



このハンドル専用のジグを作り、1本1本溶接して製作していく。下のデータはノーマルハンドルとの比較。ハンドルの角度が大きく違っているのがわかる

スタイルアップに /

オススメパーツ

ナックルガード

パイプで作った荒々しいスタイルが魅力やで



パンアメリカ用に限らず、新作パーツを続々開発中。期待してや！

ナックルガード本来の目的である手を守るために強度の高いものに仕上げた。バーエンドとスイッチボックス部分で3点止めることで、しっかり固定できる

手を守ってくれる上、よりオフロードなスタイルになりますよ

特殊な形のスタンドが出し入れしやすくなるで



テコの原理を利用して、足裏で軽く押すようにすると、簡単にスタンドが上がる

つま先をちょっと前後させるだけで出し入れできますよ

解決パーツ 4

サイドスタンド
エクステンション

頑丈な3mm厚のステンレス材を絶妙な角度で曲げ加工。ノーマルのスタンドに付くプレートにかぶせるタイプ。通常はかなり足を前に出してスタンドを出し入れするが、これならフラツかずに出し入れが可能になる



足を引っ掛ける部分がかなり伸びるのでスタンドに足が届きやすくなる

お悩み解決！

TRIJYAのモノ造り道場



大阪府柏原市にショップを構えるトライジャは、独自のカスタムのほか、カスタムパーツの開発にも力を入れている



トライジャ スタッフ サトウちゃん
トライジャの看板娘。底抜けに元気で、お客さんや付き合いのあるショップスタッフのファンが多い

トライジャ ボス オカモトさん
トライジャの代表である「T-BOSS」こと岡本さん。カスタムの悩みに親身になって相談を受けてくれる

カッコいいハーレーで颯爽と走りたけれど、本当に乗りこなせるのか心配。とお悩みのアナタ。その悩みトライジャ ボスが解決します！かゆいところに手が届くパーツをご覧あれ。

text/T.Numao 沼尾哲平 photo/K.Matsumoto マツモトカズオ 問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 https://trijya.com

今回のお題 /

パンアメリカをもっと乗りやすくする



トライジャカスタムのパンアメリカはコチラ！

日本人の体形に合わせたセッティングになっているからほんま乗りやすいで！

- 1 車高が高い
- 2 ハンドルが遠い
- 3 ステップ位置が高い
- 4 スタンドが出しづらい

日本人にとってパンアメリカって

カスタムに使われたトライジャ謹製パーツ



フレーム構造に合わせて製作しているので、まるで純正のようなフィット感。レザーは選択可能なので、好みに合わせたシートに仕上がる



乗り心地を損なわないようにしながらかなりローダウンさせたで

シートベースの構造をCADを使って綿密に設計しているため、車体への取り付けも完璧



スポンジの成型や表皮の張り付けはシート専門のスタッフが丹精込めて仕上げていく



身長175cmで足が完全に地面につけられる！

解決パーツ 1

ダブルシート

ショッピングページはコチラ



着座位置が低いから女性でも乗りやすいですよ

動画もあるよ！